

B.LEAGUEとKBLのパートナーシップの振り返り

ココロ、たぎる。B.LEAGUE

- リーグ開幕時からKBLはもっとも交流があり、それを発展させる形で2019年に提携。コロナのためプロ交流、ユース育成でできることは限られたが、アジア枠を相互に設けたことで選手に機会を与えることはできた
- これまでの提携領域をさらに発展させる形で続けていく

BLG開幕 ~ 2018-19シーズン

2019-20シーズン ~ 2022-23シーズン
(2019.5 締結)

2023-24シーズン以降(想定)
(2023.5 更新 **今回締結対象期間**)

① プロ交流

- 2017年1月 日韓戦開催
- 2018年9月 Early Cup 2018
KansaiにKBLクラブが参加
- クラブ間パートナーシップ(SR渋谷、千葉J)

- KBL Cupに招待を受けるも、日程やコロナで派遣できず
- 日韓クラブ間のプレシーズン試合は継続

- クラブ間での交流試合の促進
- リーグ主催のカップ戦等を検討

② 選手機会

-

- 2020-21シーズンから両国で相互にアジア枠を開始
- 韓国人→BLG: 1名からスタートし、最大5名在籍
- 日本人→KBL: 通算2名在籍

- アジア枠活用促進のための制度的障壁にチャレンジ

③ ユース

- 2018年3月、2019年3月 U15 Challenge Cupに韓国クラブU15を招待

- 2020年2月KBL主催のU15大会にBリーグU15選抜を派遣

- 2024年2月のBユース国際大会への韓国チームの招聘
- 1年ずつ相互に行き来できる関係に発展させる